

令和6年2月吉日

各都道府県市町教育委員会教育長 様
各国立大学法人・公立・私立中学校長 様
各中学校技術・家庭科担当者 様
関係者各位

第61回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会
福井大会 大会運営委員長 大橋 周一郎

第61回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会
令和6年度 福井県中学校技術・家庭科研究大会

福井大会のご案内(第3次案内)

時下、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、第61回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会を福井県にて開催いたします。

本大会では、『学びを生かし、よりよい社会を構築するための実践力の育成』を研究主題に学習活動を展開し、本教科の一層の充実をめざして研究を進めております。

つきましては、貴職をはじめ、本教科担当の先生方、および関係各方面から多数のご参加をいただき、ご指導、ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

大会開催要項

1 主催 全日本中学校技術・家庭科研究会
東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究会
福井県中学校教育研究会技術・家庭科部会、福井県中学校技術・家庭科研究会

2 後援 (申請予定) 福井県教育委員会 福井市教育委員会 坂井市教育委員会
越前市教育委員会 福井県中学校長会 福井県小学校長会
福井県教育公務員弘済会 福井県産業教育振興会
公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会

3 期日 令和6年10月31日(木)
午前 理事研修会 AOSSA(アオッサ)研修室
午後 全体会、講演会 AOSSA(アオッサ)県民ホール
令和6年11月1日(金)
公開授業、分科会 福井県内中学校

4 大会日程

【10月31日(木)】

10:00	10:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:30	14:50	16:00	16:20
理事 受付	理事会	昼食 休憩	一般 受付	開会式	全体会 指導講評	休憩	記念講演	閉会式	

【11月 1日（金）】

第1分科会 第2分科会 第4分科会

9:00 9:20 10:00 10:50 11:10 11:50 13:00 14:00 14:10 15:10 15:30

受付	開会式	公開授業	休憩	授業研究協議	昼食休憩	研究協議① 指導講評	研究協議② 指導講評	閉会式
----	-----	------	----	--------	------	---------------	---------------	-----

第3分科会

9:00 9:20 10:00 10:50 11:10 12:30 13:40 14:40 14:50

受付	開会式	公開授業	休憩	授業研究協議	昼食休憩	研究協議 指導講評	閉会式
----	-----	------	----	--------	------	--------------	-----

5 研究主題

『学びを生かし、よりよい社会を構築するための実践力の育成』

～学校・家庭・地域がつながる学習活動を通して～

主題設定の理由

現在、少子高齢化による生産年齢人口の減少やグローバル化の進展、異常気象による災害の増加など、急速に時代が変化をしており、深刻な問題が多発している状況である。また、人工知能の飛躍的な進展に伴い、学校教育に大きな変革をもたらすのではないかと懸念されている。このような予測困難な時代において、今の子どもたちは新時代の担い手としてたくましく生き抜いていく必要がある。そのため、子供たちが自ら設定した課題に対して、主体的に学習に取り組む力や、他者との協働を通して解決していく力が求められていく。そして、知識や技能の習得とあわせて、思考力、判断力、表現力等の育成もバランスよく形成していくことが大切である。自ら学び、自ら考えて身に付けた力が、新時代を切り拓く資質・能力へとつながる鍵となる。

本県では、研究の軸となる『実践力』について、長年追究を重ねてきた。本研究では、『実践力』を「授業で培った学びが、実生活で生かされるだけでなく、未来を切り拓く資質・能力へと変容していく力」と「正解のない問いに対して、制約条件を考え、何度も練り直しながら最適化を図ろうとする実践的な態度」であると捉えた。その『実践力』の育成に向けて、実生活の中で気付いた問いから課題を設定し、解決策を検討・計画し、生活の中での実践や他者からの提案を通して、自分の考えをブラッシュアップし、次の学びへとつなげていくという「学びのプロセス」を取り入れる。このような一連の学習過程を積み重ね、探究的に学びを構築することで『実践力』が高まると考え、研究主題を設定した。

また、社会に開かれた教育課程の実現を目指し、学校・家庭・地域が幅広く連携しながら授業を創り上げていくことが、新しい時代に求められている資質・能力の育成につながると考える。学校・家庭・地域が相互に関わり合い重なり合いながら、学びの往還を繰り返すことで、実践的な学びへと繰り上がっていくと捉え、研究副題を設定した。

6 記念講演 〈演題〉『(未定)』

〈講師〉株式会社 jig.jp 創業者・取締役会長 株式会社 B Inc. 代表取締役社長 福野泰介氏

ファミコンに感動し、ゲームプログラミングを始める。福井高専電子情報工学科に進学。地震予知の研究や趣味を通じ、人の役に立つツールソフトウェアを作ることにやりがいを感じつようになった。高専卒業翌年の2000年、高校の先輩に誘われ有限会社シャフトの取締役就任。翌年、有限会社ユーエヌアイ研究所を設立。2003年、誰もが使う携帯電話上のソフトウェアに魅力を感じ、利用者に最も近いソフトウェアを提供するべく株式会社 jig.jp を設立。高速フルブラウザ「jig ブラウザ」、携帯電話での長時間動画視聴を可能にする「jig ムービー」などを開発・販売。近年は、地域情報化アドバイザーとして、「オープンデータプラットフォーム」を活用した、市民と一緒に進めるアプリづくり「シビックテック」を盛り上げるべく、様々な自治体と連携した活動を行っている。

7 全体会会場 <http://www.aossa.jp/access/>

アオッサ

〒910-0858 福井市手寄 1-4-1 AOSSA

【JR 福井】 北陸新幹線「福井駅」下車 東口から徒歩 1 分

【車】 「福井 IC」より車で 20 分

地図



8 指導助言者

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 情報教育振興室 教科調査官
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 渡邊 茂一 様


文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
 国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 熊谷有紀子 様

9 分科会

第 1 分 科 会	A 材料と加工の技術		【授業の概要】 本分科会では、様々な場面で身近な建物を使って学習活動を進めている。本時の授業では、これまで学習してきた三国町の古い建物の玄関扉から、材料と加工の技術の工夫を読み取る活動を行う。「材料」「加工・構造」の2つの観点と、「使用者」「生産者」の視点から、その技術が使用された理由について考えていく。多様な意見を出し合い、当時の人がどう折り合いをつけながら建築を行ったかを考えることで、技術の見方・考え方について深めていく。
	授業者	坂井市立三国中学校教諭 岡 裕史	
	助言者	福井大学准教授 守田 弘道 様	
	【会場校】 坂井市立三国中学校 〒913-0043 坂井市三国町錦1丁目7-3 電話：0776-82-1177		
	他県発表	岐阜県 A 材料と加工の技術 三重県 B 生物育成の技術	

第 2 分 科 会	C エネルギー変換の技術		【授業の概要】 本分科会では、北陸新幹線越前たけふ駅が開業し、来県した人たちが観光や仕事など用途に合わせて利用できるモビリティを考案するテーマで研究を進めている。本時の授業では、各班で開発したモビリティを様々な観光地を想定したコースを試走させる。コースの勾配や積載重量などの課題に対して、最適な速度伝達比やモータ出力など、理想の組み合わせを試行錯誤しながら追究していく。経済性や環境負荷などに着目しながら、エネルギーを最適に利用しようとする態度を身に付ける。
	授業者	越前市武生第三中学校教諭 東 秀樹	
	助言者	福井大学准教授 石川 和彦 様	
	協力者	埼玉大学教授 山本 利一 様	
	【会場校】 越前市武生第三中学校 〒915-0084 越前市村国2丁目3-56 電話：0778-23-1433		
	他県発表	富山県 C エネルギー変換の技術	
	D 情報の技術		
提案者	鯖江市鯖江中学校教諭 橋本 慎太郎		
助言者	福井大学准教授 小林 溪太 様		
【研究の概要】 「災害や事故から身を守るためには、どのような情報が必要だろう。」このような問題に直面した時に、どのようなことを考えるだろうか。「安心・安全」の視点から課題を設定し、家庭や地域からの要望を聞いたり調査を行ったりしながら、安全マップの制作に取り組んでいく。また、マップをWeb上に公開することで家庭や地域とのつながりを意識させ、広がりのある学習活動を展開する。他者と共に考えを共有しながら試行錯誤を繰り返していく中で、将来に向けた実践力の育成を目指していく。			

第 3 分 科 会	A 家族・家庭生活		【授業の概要】 私たちが生活する身近な地域には、多様な人々が暮らしている。本時の授業では、地域でさまざまな活動に取り組んでいる「かがやきビト」を自分たちの手で探し出し、地域とのつながりに気付かせていく。今の自分が、また年を重ねたときの自分が、地域のために何ができるのかを時間軸でイメージし、地域の人々と関わりをもち共生していく大切さについて考えていく。
	授業者	坂井市立丸岡中学校教諭 平 葉月	
	助言者	福井大学特命教授 横山美弥子 様	
	提案者	勝山市立勝山北部中学校 宮本 知枝子	
	【会場校】 坂井市立丸岡中学校 〒910-035 坂井市丸岡町寅国 5-15 電話：0776-66-1313		
他県発表	石川県	B 衣食住の生活（食生活）	

第 4 分 科 会	C 消費生活・環境		【授業の概要】 本時「持続可能な消費生活を目指して」の授業では、内容B衣生活との関連を図りながら、消費者として生活を工夫し適切に行動する力を身に付ける。3年間で役目を終える学校の制服や体操服を取り上げ、学校・家庭・地域と連携できる持続可能な社会づくりを目指して、自分にできることを考える活動を行う。	
	授業者	越前市武生第三中学校教諭 上島 郁美		
	助言者	福井農林高等学校校長 今澤ひかり 様		
	【会場校】 越前市武生第三中学校 〒915-0084 越前市村国2丁目3-56 電話：0778-23-1433			
	他県発表	愛知県 静岡県		C 消費生活・環境 B 衣食住の生活（衣生活）

10 大会参加申込について

- (1) 大会参加費（資料代） 4,000円
- (2) 申込期間 令和6年7月中旬～9月中旬（予定）
- (3) 申込方法 申し込みの方法が決まり次第連絡いたします。

11 分科会資料・詳細日程について

分科会の当日の指導案、研究資料等は、福井県技術・家庭科研究会のサイト上にアップします。参加される分科会のページより、各自でプリントアウトし、当日ご持参願います。

また、各分科会の詳細な日程も各分科会のページで確認できるようにいたします。

第61回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会 福井大会
福井県中学校技術・家庭科研究会 HP
<https://ajgika.ne.jp/~fukui/>



12 お問い合わせ（大会事務局）

福井県中学校技術・家庭科研究会 事務局 越前市南越中学校 笹本浩太郎
〒915-0264 福井県越前市野岡町28-4 Tel.0778-42-1870 Fax 0778-42-1871
E-mail:s_Sasamoto_1610iZ@echizen.ed.jp